

岩 石 <県本土編>





281 玄武岩(川内市平ノ山)(120)



282 角せん石安山岩(川内市岩元)(120)



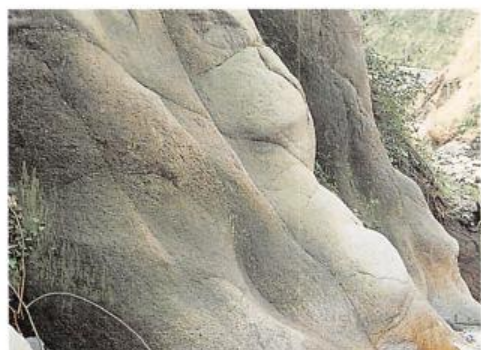
283 輝石安山岩(大口市十曾)(120)



284 流紋岩(鹿児島市皆与志)(120)



285 黒曜石を含む溶結凝灰岩 (指宿市) (121)



286 花こう岩 (垂水市高隈山) (121)



287 れき岩 (垂水市猿ヶ城) (122)



292 火山灰 (牧園町) (124)



293 軽石(志布志町海岸) (124)



295 シラス(東市来町江口浜) (125)



296 溶結凝灰岩(鹿児島市磯) (125)



288 砂岩と泥岩(郡山町入来峠) (123)



291 粘板岩(坊津町久志) (123)



297 チャート(川内市月屋山) (126)



298 石灰岩(川内市月屋山) (126)



299 けいそう土(樋脇町藤本) (127)

解説集の使い方

岩石20種の特徴と採集場所について解説しました。次の点に留意してご利用ください。

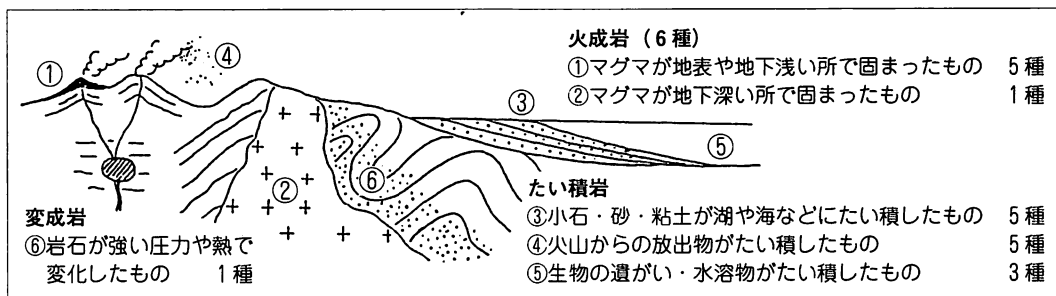
- 1 ここに取り上げている岩石は、県本土の20種類が中心ですが、これ以外に地域の、特徴ある岩石数種も解説してあります。
- 2 前半で岩石のでき方や特徴を、後半では県本土を9つの地域に分けて岩石採集場所の案内地図を示しました。
- 3 岩石の特徴については、採集場所での自然のままの様子、岩石全体の色、粒の色や形、大きさ、割れ方、硬さなど、岩石を見分けるめやすが示してあります。これだけでは岩石を学問的に正確に分類することはできませんが、採集した岩石の大まかな分類や、目的の岩石であるかどうかを判断するのに役立ててください。
- 4 火山灰やシラス、^{ようけつぎょうかいがん}溶結凝灰岩等は火山活動によって放出された後、たい積したものであることから、たい積岩の仲間に入れてあります。
- 5 岩石を作っている鉱物の実験観察については□で囲んで示しました。虫めがねがあれば観察できますので、調べてみましょう。
- 6 それぞれの岩石の採集場所は、ここに挙げた以外にもたくさんあります。自分の家の近くで探してみましょう。
- 7 花こう岩の採集場所には、花こうせん^{りょく}緑岩も含めて書いてあります。
- 8 地名は、国土地理院発行の「五万分の一地形図」を参考にしました。採集や巡見のときはこの地形図をあわせて用いると便利です。
- 9 採集するときは、次のようなことを守りましょう。

- (1) 許可を受けて採集する。(山の持ち主、鉱山や碎石場の責任者など)
- (2) 必要最少限採集し、後かたづけもきちんとする。
- (3) 墓石、記念碑、水田や畑の石、堤防や公園などの石は採集しない。
- (4) 足元や頭上の安全を十分確かめてから採集する。

岩 石

1. 岩石20種の顔ぶれ

鹿児島県内でよく見られる岩石の中から次のような20種を選びました。



2. 岩石採集のヒント

- (1) 岩石を採集するときは、場所をこの解説集や地質図などで調べてから出かけましょう。
- (2) 採集場所では、岩石を割って、できるだけ新鮮なものを採集します。
- (3) 川原や海岸などでも、美しい小石を採集することができます。



3. 岩石観察のポイント

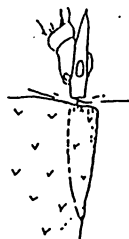
岩石を観察すると、そのできかた、生いたち、大地の歴史が推定できます。次の点に注意しながら、岩石の特徴をとらえることが大切です。

- 採集する岩石とまわりの岩石との関係
- 模様や粒の並び方 ● 粒の形や大きさ
- 割れ方や硬さ ● 粒の色、全体の色

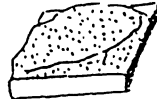
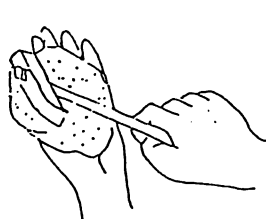
4. 岩石標本の作り方

各地の岩石を採集し、標本を作って比べてみましょう。

- (1) 割れやすい方向にたたいて割る
- (2) 形を整え、手のひらにのる大きさに仕上げる
- (3) ラベルを書き、箱に入れる



* やわらかい岩石はビニール袋に入れる。

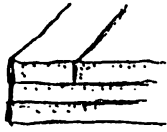

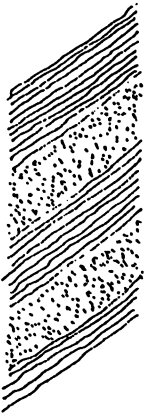


No.
名前.....
採集場所.....
採集日.....
採集者.....



花園のふち取りに使うのも楽しいものです。

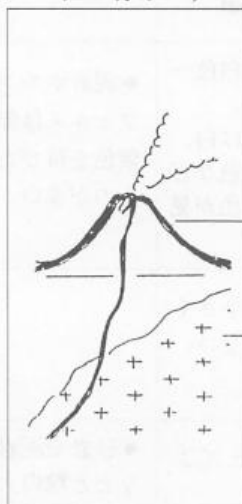
火成岩・たい積岩・変成岩の見分け方

岩石観点	火成岩	たい積岩			変成岩 (ホルンフェルス)
		水のはたらき でたい積	火山の放出物 がたい積	生物の遺がいや沈 殿物がたい積	
岩石の色	●灰・黒・赤・緑色 などさまざまな色を していることが多い	●岩石全体は 同一色が多い	●白・灰・黒 色が多い。 ●輝緑凝灰岩 は緑色を帯び たものが多い	●石灰岩は白色～ 灰色が多い。 ●チャートは白、 青、緑、赤色など さまざまな色が見 られる。	●泥岩ホルン フェルスは赤 紫色を帯びた ものが多い
粒の形	●粒は角ばっている	●れきのような 大きな粒は まるっこい	●角ばった小 石や軽石を含 むことがある	●粒の形は小さく てよく見えない	
粒の大きさ	●粒の大きさはまち まちでそろっていな い。(特に火山岩)	●粒の大きさはほぼそろっ ている。	●含まれる小 石や軽石はそ ろっていない	●粒は小さくてよ く見えない	●砂岩や泥岩 などと粒の大 きさは変わら ない
化石		●貝や木の葉、微生物などの化石を含むことがある。			
採集場所での様子・その他	●板状、柱状などの 割れ目(節理)がよく 見られる。  (板状節理)  (柱状節理)	●砂岩と泥岩 は交互に重な っていること が多いので、 しま模様に見 える。  (互層)	●溶結凝灰岩 などには柱状、 板状の割れ目 がよくみられ る。火山灰な どはしま模様 をつくること が多い。	●石灰岩は塊状を していることが 多い。 ●チャートはしま 模様をしている ことが多い。	●砂岩やけつ 岩などが変化 したものであ るが、硬くて、 割れにくい。 ●光にあてるとキラキラ光 る粒が見える ことがある。

I. 火 成 岩

火成岩を仲間分けするには、岩石の粒の大きさと色に注意しよう。

粒の様子は、マグマが冷える速さで違いがでてくる。



火山岩

マグマが地表や地下浅い所で固まった岩石。急に冷えたため、小さな粒の集まりか、小さな粒と大きな粒の組合せになる。

はん状



げん ぶ がん
 安 山 岩
 流 紋 岩
 黒 曜 石

深成岩

マグマが地下深い所で固まった岩石。ゆっくり冷えたため、どの鉱物も大きな等粒状の岩石になる。

等粒状



はんれい がん
 せん 緑 岩
 花 こう 岩

— 岩石の色は、岩石にふくまれる粒（鉱物）の種類やその割合で違う —

	無色鉱物が多く 白っぽい	中 間	有色鉱物が多く 黒っぽい
無色鉱物	石 英	長 石	
有色岩石	黒雲母	角せん石	輝石 かんらん石

鉱物は小さな粒だけか、大小の組合せである	 流 紋 岩	 安 山 岩	 玄 武 岩
どの鉱物も大きく等粒状である。	 花 こう 岩	県内では、採集場所は知られていない。 せん 緑 岩	
		 はんれい 岩	

* 流紋岩と安山岩、流紋岩と花こう岩の間に位置する中間的な岩石もある。

281 玄武岩

採取場所の例 川内市冷水町平ノ山，入来町八重山，鹿児島市竜ヶ水標高100m 付近。

特徴 有色鉱物をたくさん含んでいるので，全体的に黒っぽい。ち密で粒は小さい。

この岩石になるマグマはねばりけが弱く，遠くまで流れるので，溶岩台地などのなだらかな火山地形をつくる。

玄武岩は鉄分をかなり含み，風化した土は鉄さびで赤くなっている。

たまねぎの皮をむくような風化の仕方をする。

兵庫県の玄武洞がこの岩石からできているので，この名がついた。



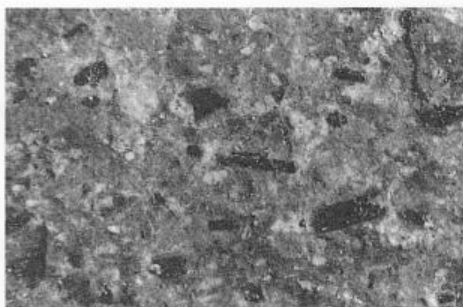
川内市平ノ山の溶岩台地

282 角せん石安山岩

採集場所の例 阿久根市西目東方の山，開聞町上野，川内市高城町岩元

特徴 うすい灰色の中に黒みがかった緑色の柱状の粒（角せん石）が散在している。この粒は輝石に比べると細長く大きい。

安山岩とは，南米のアンデス山脈の岩石にちなんで，学名を Andesite（アンデサイト）としたところから名づけられた。



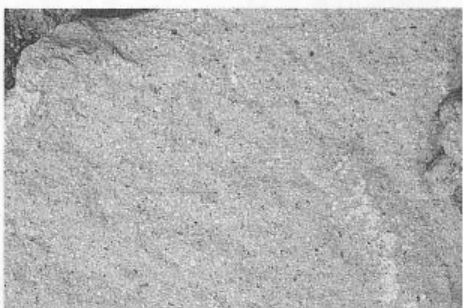
黒い長方形の粒は角せん石

283 輝石安山岩

採集場所の例 大口市十曾，東町小坂峠，枕崎市立神，鹿屋市浜田，鹿児島市竜ヶ水大崎鼻。

特徴 うすい灰色～こい灰色。長方形をした白っぽい粒（長石）や黒い短柱状の粒（輝石）が見える。

露頭では，マグマが冷え固まるときの状態によって板状や柱状に割れ目（節理）が入っていることが多い。



輝石安山岩の表面

284 流紋岩

採集場所の例 大口市山野尾ノ前，額娃町瀬平，鹿児島市皆与志町丸岡，垂水市咲花平（桜島口）

特 徴 全体がうすい灰色、または赤～黒色。白色の粒（長石）、灰色の粒（石英）、黒色の粒（黒雲母）が見える。

流紋岩には流れ模様が見られることからこの名がついた。この模様は、マグマが冷え固まりながら流れるとき、先に結晶した鉱物が流れの方向に並ぶことによってできる。

流紋岩をつくるマグマは、ねばりけが強く、流れにくいので、丸い形の山になる。近くに丸山とか丸岡という名の山があったら、流紋岩ではないか調べてみよう。



流紋岩の流れ模様

285 黒曜石

採集場所の例 大口市平出水日東、指宿市魚見岳、鹿児島市三船海岸、樋脇町上牛鼻。

特 徴 黒色、ガラスのような光沢がある。マグマが急に冷え固まったため、全体がガラス質になっている。

黒く見えるのは中に微粒子を含んでいるためで、薄く割ると透明なる。割れた面は貝殻状で、石器時代には矢じりの材料に使われた。



貝殻状の割れ目（黒曜石）

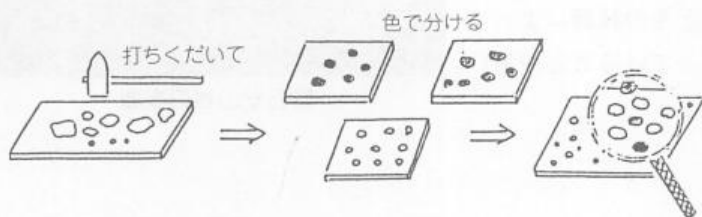
286 花こう岩

県内産の多くは花こう岩とせん^{りょく}緑岩の中間的な花こうせん^{りょく}緑岩である。

採集場所の例 宮之城町紫尾山、金峰町金峰山、垂水市猿ヶ城（高隈山）、下甕村片野浦。

特 徴 全体が白っぽく、灰色（石英）、白色（長石）、黒色（黒雲母）の大きな粒が見える。

花こう岩をくぐいで、岩石をつくる鉱物を観察しよう。

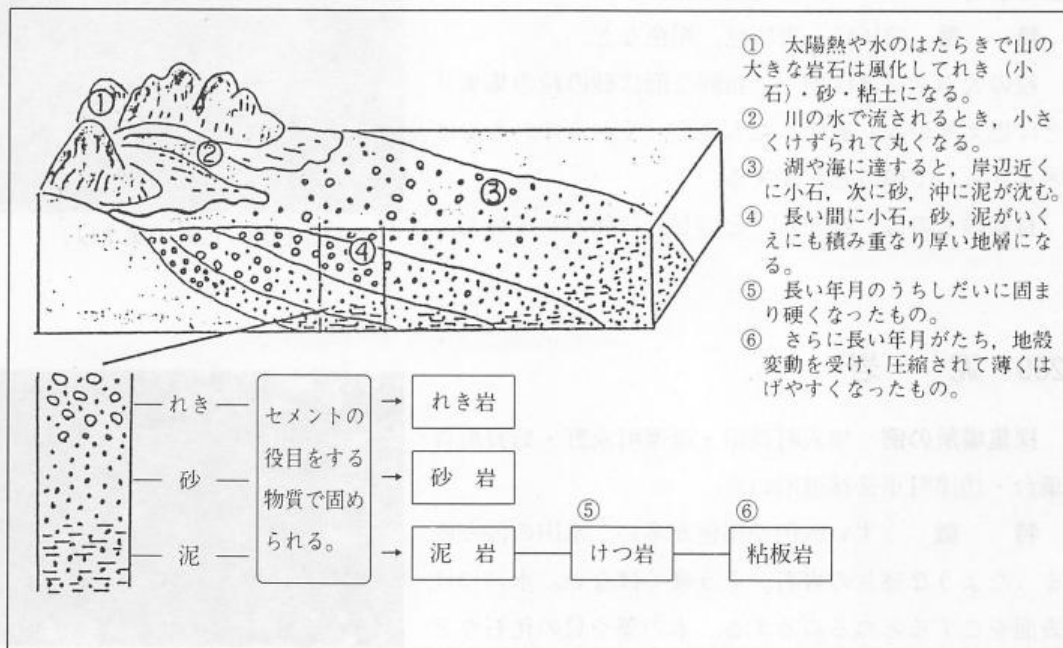


黒い云母、石英、長石

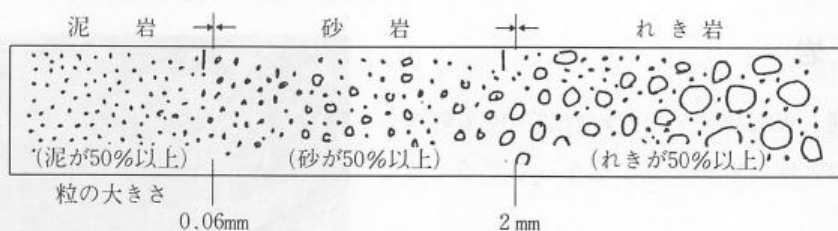
花こう岩をみかげ石ともいうが、これは兵庫県御影地方の花こう岩が石材として使われたことによる。

II たい積岩

1. 水のはたらきでできた石



れき岩・砂岩・泥岩の区別



287 れき岩

採集場所の例 川内市久見崎・里村荒人崎・垂水市猿ヶ城・坊津町車岳林道沿い。

特徴 直径2mm以上の小石が50%以上を占めるものをれき岩という。砂や泥も混ざっている。

小石は水で流されるとき角がけずられてまくなっている。小石のことをれきということからこの名前がついた。

コンクリートも川原の石を使うことからコンクリートをれき岩と間違えやすいが、希塩酸をかけると、コンクリートの方は溶けて泡がでてくる。



れき岩（川内市久見崎）

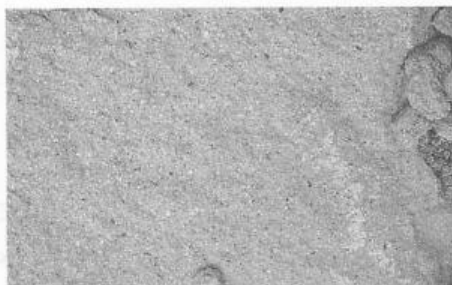
288 砂岩

採集場所の例 川内市月屋山・鹿屋市高隈山周辺・志布志町ダグリ岬・郡山町入来峠。

特徴 暗灰色、青灰色、褐色など。

粒の大きさはほぼ均一。新鮮な面は砂の粒の集まりとは思えないが、風化したものや、やわらかいものはざらざらして砂の感じがする。

良質のものは、昔から「といし」に使われていた。



砂岩（砂粒の集まり）

289 泥岩

採集場所の例 隼人町長浜・薩摩町永野・始良町青葉台・坊津町車岳林道沿い。

特徴 うすい灰色か褐色が多い。水田の泥が固まったような感じの岩石。そう硬くはない。水につけ、表面をこするとぬるぬるする。木の葉や貝の化石などを含んでいることもある。



泥岩（泥の集まり）

290 けつ岩

採集場所の例 東町薄井・川辺町野間・佐多町西方
砂岩は、砂岩とけつ岩が交互に重なってでてくることが多い。

特徴 県内にでてくるものはほとんど黒色。風化すると赤かっ色の粘土になる。

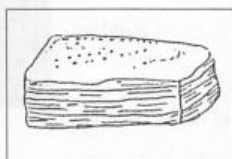


けつ岩（大隅湖付近）

291 粘板岩

採集場所の例 川内市月屋山・鶴田町鶴田ダム付近
鹿屋市高隈川沿い(仮屋・谷田)

特徴 ほとんど黒色、粒は見えない。板を重ねたように見え、薄くはがれやすい。



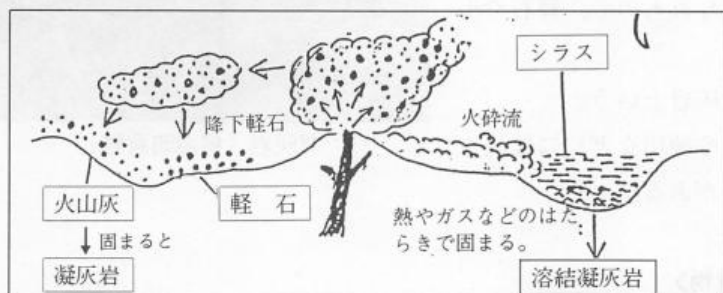
良質のものは昔から「すずり石」として使われている。



粘板岩

2 火山から放出されたたい積物

県内には、加久藤・阿多・始良・鬼界カルデラが形成されたころの火山活動や霧島・桜島・開聞岳などの火山活動による放出物が、各地にたい積している。



292 火山灰〈ローム〉

採集場所の例 霧島山麓一帯・開聞岳山麓一帯・桜島周辺やシラス台地の上。

特徴 黄かっ色の層と黒褐色の層が重なってしま模様に見える。現在の桜島の火山灰と色が違うのは風化したり、含まれている鉱物が違うためである。



火山灰層

火山灰の粒を観察してみよう

① 火山灰をすりつぶし、水で洗う。



② 上のごり水を捨てる。



にごりがなくなるまでくり返す。

③ ルーベや20~40倍の顕微鏡で観察する。



④ 磁石に着く鉱物はないか確かめる。



293 軽石

採集場所の例 福山町一帯（ボラ）・垂水市一帯・指宿市池田湖周辺・桜島周辺

特徴 白色～灰色、黒い粒が散在する。

軽く水に浮く。表面に無数の穴がある。これは放出されたとき、気体がぬけだしたあとである。

軽石をつぶし、火山灰のような方法で粒を観察してみよう。



軽石の層（志布志町）

294 凝灰岩 ぎょうかいがん

採集場所の例 樋脇町倉野・鹿児島市花倉海岸・枕崎市立神・大根占町神川。

特徴 うす茶色～灰色。

火山灰が地表や水底にたい積したもので、軽石や小石を含んでいるものもある。

小石を含んだものを角れき凝灰岩という。

水底にたい積したもの（花倉や神川など）には貝や木の葉の化石を含んでいることがある。



凝灰岩（樋脇町倉野）

295 シラス かさいりゅう〈火砕流たい積物〉

採集場所の例 県本土の各地。高さ50～100mの台地をつくり、各地に急な崖が見られる。

特徴 白色～灰色。軽石や小石を含み、さらさらした砂のような感じ。

カルデラをつくった火山の大爆発によってふきだされた火山灰や火山れきが高温のガスに混じって非常に高速で広がりたい積したもので、火砕流たい積物とよんでいる。

火砕流たい積物は、かたく固まった溶結部と固まっていない非溶結部に分けられ、非溶結部がシラスである。

火山灰を観察した方法で、シラスをつくっている鉱物を観察してみよう。



貝化石のある凝灰岩（大根占町神川）



輝石・長石・磁鉄鉱・ガラス質

296 溶結凝灰岩 ようけつぎょうかいがん

採集場所の例 大口市曾木・国分市入戸・川内市碓山・枕崎市立神・鹿屋市浜田。

地名のついた昔からの石材はこの岩石が多い。

河頭石・山川石・加治木石

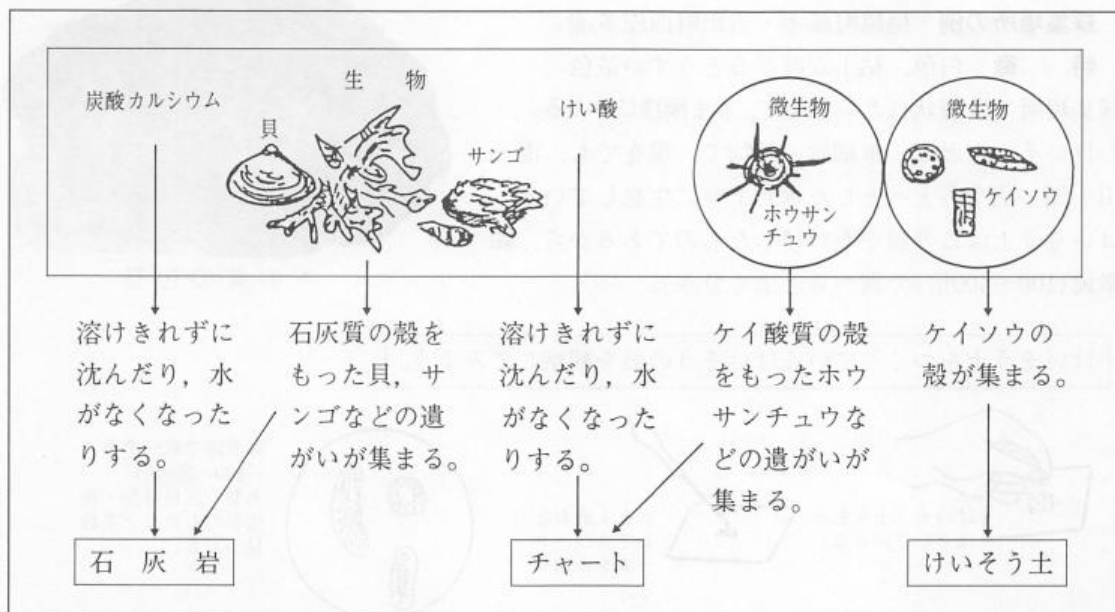
特色 灰・暗灰・赤・黄などの色のものがある。軽石や黒曜石をレンズ状に含んでいる。やわらかく細工しやすいので石材によく使われている。

石橋、石造りの倉、堤防、田の神像、墓石、石べい、庭の敷石



溶結凝灰岩（川内市）

3 水中の遺がいや溶けている物質がたい積してできた岩石



297 チャート

採集場所の例 阿久根市国民宿舎付近・阿久根市牛之浜駅下の海岸・川内市月屋山

特徴 白色～乳白色，牛之浜駅下のものは青，緑色のものもある。石けんのようにつやがあり，ち密で硬い。

チャートからはホウサンチュウの化石が見つかることがあるが，阿久根や川内のチャートからはまだ見つからない。

県内で最も古い地層(古生層)であるが，硬い岩石なので，風化しにくい。



チャート (川内市月屋山)

298 石灰岩

採集場所の例 阿久根市牛之浜駅下の海岸・川内市月屋山

特徴 灰色～白色。ナイフで傷がつく程度の硬さ。うすい塩酸をかけると泡を出してとける。

貝やサンゴ・フズリナなどの遺がいやたい積したものであれば，その化石が石灰岩の中に見つかることになるが，阿久根や川内のものからはまだ見つからない。

吉田町には貝化石層があるが，まだ石灰岩にはなっていない。石灰岩はセメントの原料になる。



石灰岩 (川内市月屋山)

299 けいそう土

採集場所の例 樋脇町藤本・吉田町西佐多浦。

特徴 白色，粘土が混ざるとうすい茶色。

採集場所では層状にたい積して，しま模様に見える。

けいそう土とは，単細胞の植物で，現在でも，海・川・湖・沼やちょっとした水たまりに生息している。

けいそう土はこの殻がたい積したものであるから，顕微鏡(100～400倍)で調べるとよく分かる。

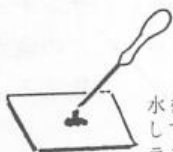


木の葉の化石

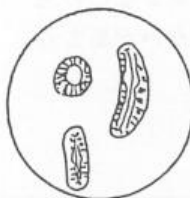
けいそう土をつくっているけいそうの殻を観察してみよう。



けいそう土をもみほぐしてのせる。



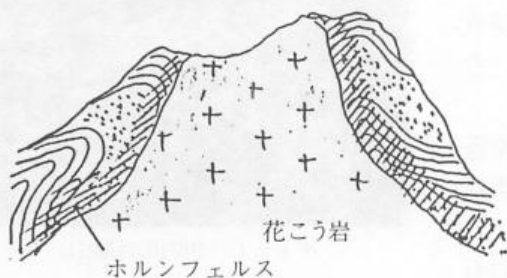
水を1滴おとしてカバーガラスをかぶせる。



顕微鏡で観察する。(100～200倍)
丸型や三日月型・舟底型のものなど多数見つかる。

Ⅲ 変成岩

マグマの熱で変化した岩石



地下深い所にマグマがはいりこんでくると、

- ・砂岩・けつ岩などは高い熱を受けて新しい鉱物をもった岩石に変化する。
 - ・石灰岩は方解石の集まりからなる結晶質石灰岩になるが，県内ではまだ見つかっていない。
- 変成岩には，このほか強い圧力と熱でできた結晶片岩，片麻岩などがあるが，県内では限られた地域にしかない。

300 ホルンフェルス

採集場所の例 宮之場町泊野・垂水市本城川発電所上・本城川の川原・日吉町向江山・矢筈岳・日吉町大川の川原。

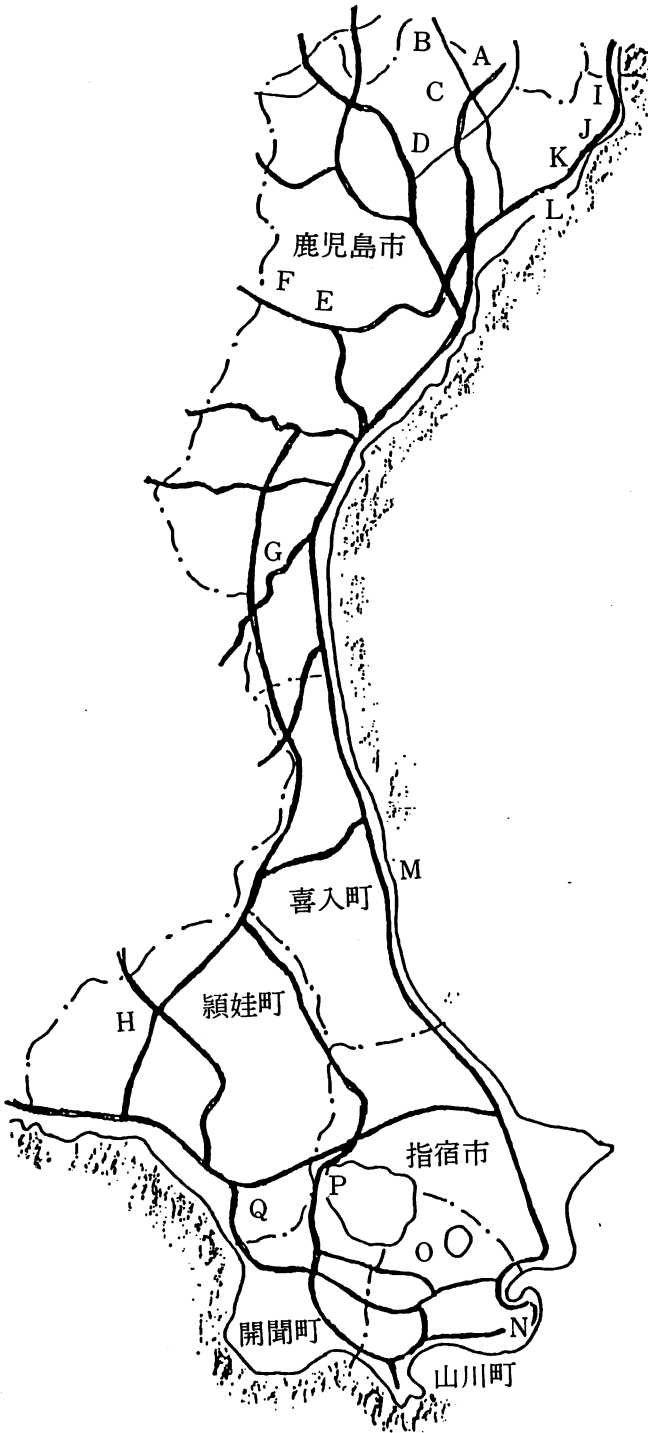
特徴 泥岩からできたホルンフェルスは，やや紫紅色，採集場所ではふつうの砂岩やけつ岩などと同じように見えるが，砂岩，けつ岩より硬く，割れにくい。ハンマーをはじいてしまうほどである。花こう岩地帯のまわりにある。

風化しにくいので，採集場所の川原には，角がつぶれつるつるしたきれいな小石になっていることが多い。

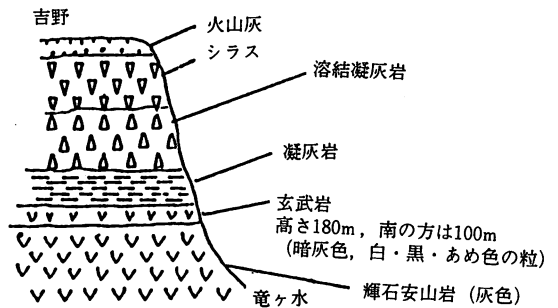


ホルンフェルス(垂水市)

鹿児島市・指宿市・揖宿郡で採集できる岩石



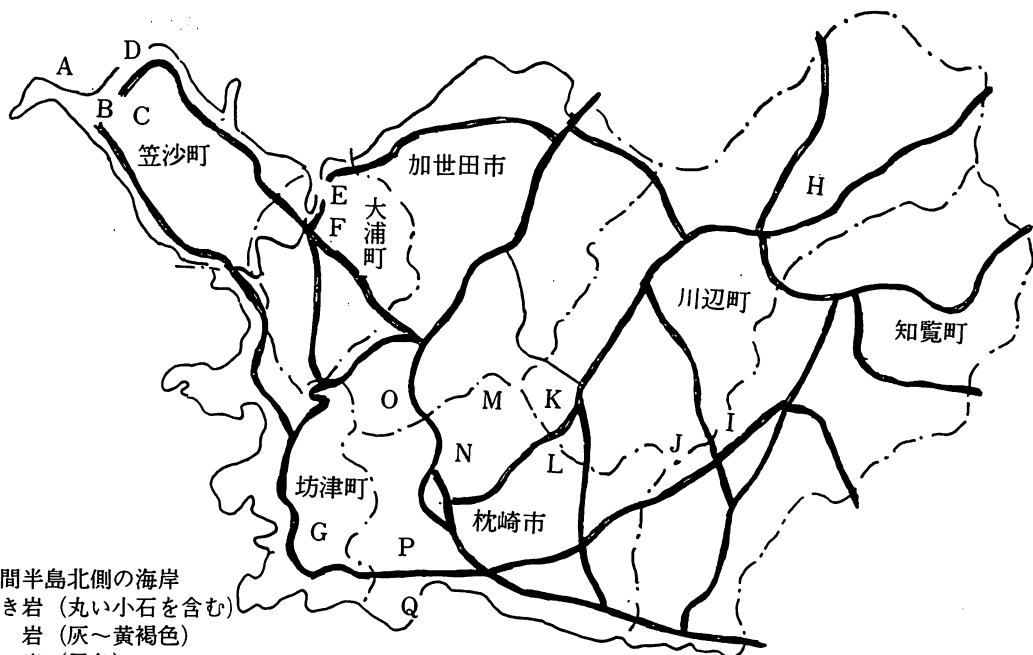
- A = 皆与志町丸岡
流紋岩 (白灰色, 流れ模様)
- B = 三重岳五合目より上
輝石安山岩 (灰色, 中に黒い小さな粒)
- C = 皆与志小正門前
砂岩・泥岩 (交互に重なる)
- D = 河頭砕石場
溶結凝灰岩 (レンズ状の黒曜石を含む)
- E = 星ヶ峯団地一帯
シラス・軽石・火山灰
- F = 宮川小東方の砕石場
砂石・けつ岩
- G = 知覧峠付近
砂岩・粘板岩・ホルンフェルス
ホルンフェルスは赤紫色を帯びる
- H = 青戸一帯
凝灰岩・火山灰
凝灰岩には小石・軽石が混じっている。
- I = 大崎鼻砕石場
輝石安山岩
(灰色, 黒い小さな粒)
- J = 竜ヶ水から吉野台地への登山道



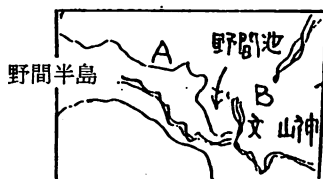
- K = 三船神社下の海岸
黒曜石 (黒色, ガラスのような光沢)
- L = 花倉陸橋下の海岸
凝灰岩 (うす茶色, 小石混じり, 貝化石)
- M = 瀬々串南方の海岸
溶結凝灰岩 (赤かつ色, 軽石, 黒曜石を含む)
- N = 成川
溶結凝灰岩 (黄かつ色)

- O = 鍋島岳の上部
角せん石安山岩 (長くて黒い粒)
- P = 中浜の砕石場
軽石 (灰白色, 多孔質)
- Q = 鬼口地区東方500m
流紋岩 (流れ模様)

枕崎市・加世田市・川辺郡で採集できる岩石



- A=野間半島北側の海岸
れき岩 (丸い小石を含む)
砂岩 (灰~黄褐色)
けつ岩 (黒色)
石灰岩 (黒灰~灰色)
花こうはん岩 (白と灰色の粒)
角せん石片岩 (緑黒色, 黒く長い粒)



- B=笠沙小北東の小高い山
れき岩 (丸い小石を含む)
石灰岩 (灰色)

- C=野間岳
輝石安山岩 (灰色, 小さな黒い粒)

- D=山神~高崎の県道沿い
れき岩 (丸い小石を含む)
砂岩 (灰~黄かっ色)
粘板岩 (黒色, はげやすい)

- E=榑バス停近く
アプライト (脈状になっている)

- F=大浦中付近
花こうはん岩 (灰白色)

- G=車岳~中山の林道沿い
れき岩・砂岩・粘板岩

- H=野間の碎石場跡
けつ岩 (黒色)

- I=赤石鉾山
けい質岩 (灰白色, ガラス光沢)

- J=下山の碎石場
角せん石安山岩
(灰色, 黒くて長い粒)

- K=庭月野一带
シラス・火山灰

- L=峰屋峠付近
角せん石安山岩
(灰色, 黒色の長い粒)

- M=蔵多山
れき岩 (丸い小石を含む)
砂岩 (灰~黄かっ色)
けつ岩 (黒色)
ホルンフェルス (硬い)
花こう岩 (白, 灰, 黒色の粒)

- N=金山入口
シラス・火山灰

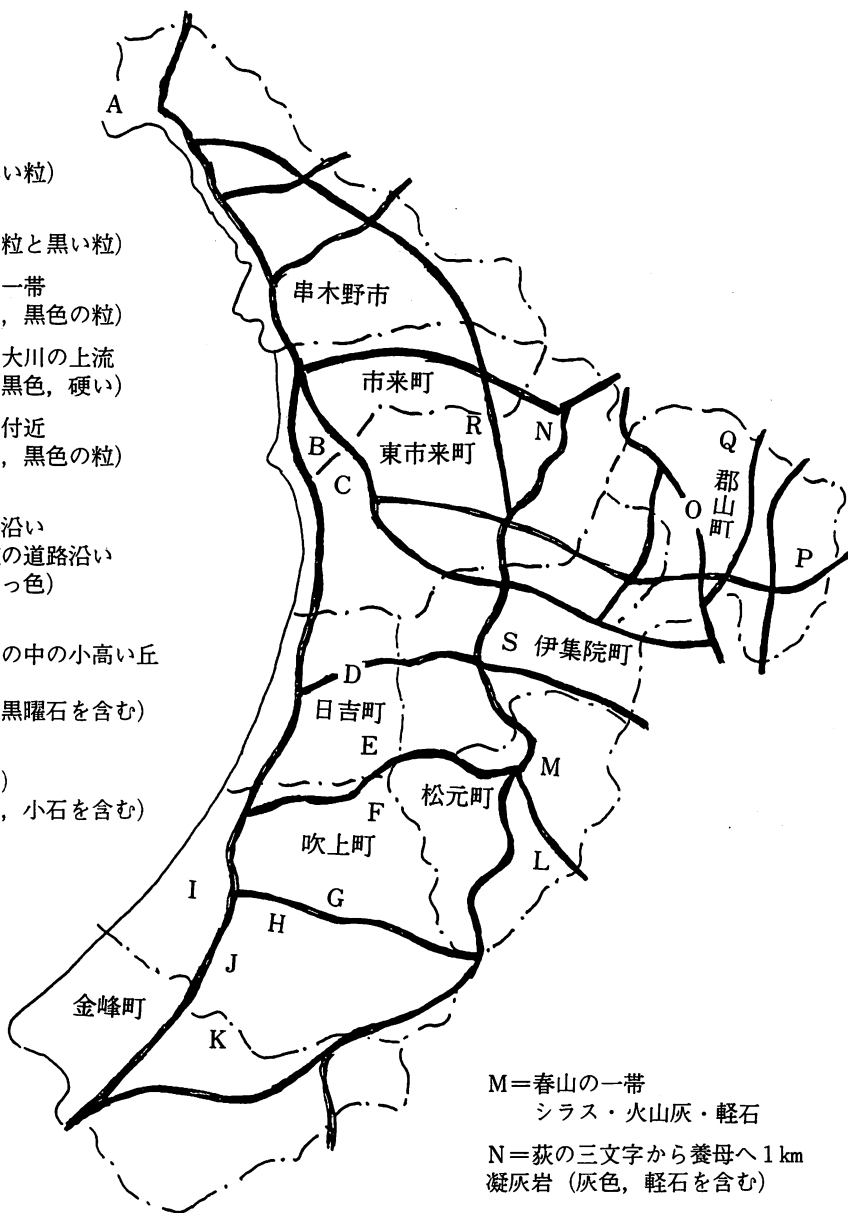
- O=道野~水流の道路沿い
砂岩 (灰~灰白色)
泥岩 (黄かっ色)

- P=春日鉾山
けい質岩 (灰白色, ガラス光沢)

- Q=火の神公園一带
輝石安山岩 (板状の割れ目)
溶結凝灰岩 (赤かっ色)
凝灰岩 (黄色)

串木野市・日置郡で採集できる岩石

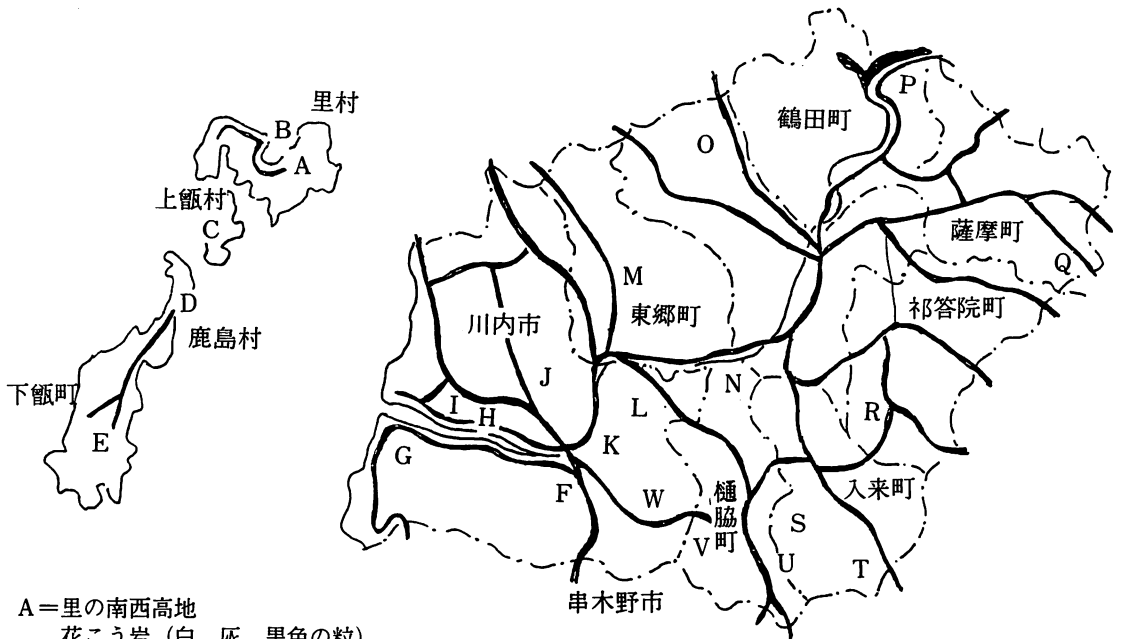
- A=羽島崎の山
角せん石安山岩
(灰色、長くて黒い粒)
- B=平木場の山
輝石安山岩 (白い粒と黒い粒)
- C=江口浜荘から山手一带
花こう岩 (白, 灰, 黒色の粒)
- D=向江山, 矢筈岳, 大川の上流
ホルンフェルス (黒色, 硬い)
- E=扇尾小裏山の中腹付近
花こう岩 (白, 灰, 黒色の粒)
- F=永吉ダム周辺
- G=野首～芋野の道路沿い
- H=南湯之元～塩水流の道路沿い
砂岩 (灰～黄かっ色)
けつ岩 (黒色)
- I=伊作川下流, 水田の中の小高い丘
溶結凝灰岩
(軽石やレンズ状の黒曜石を含む)
- J=バス停, 笠岡付近
けつ岩 (茶かっ色)
溶結凝灰岩 (軽石, 小石を含む)



- K=金峰山周辺
花こう岩 (白, 灰, 黒色の粒)
砂岩 (灰～黄かっ色)
けつ岩 (黒色)
ホルンフェルス (黒色, 硬い)
- L=バス停春山入口付近
溶結凝灰岩
(赤かっ色, 軽石や小石を含む)

- M=春山の一帯
シラス・火山灰・軽石
- N=萩の三文字から養母へ1km
凝灰岩 (灰色, 軽石を含む)
- O=バス停雪元の北東200m
流紋岩 (流れ模様, 硬い)
- P=バス停永山入口東方300m
けい藻土 (白色, もろい)
- Q=入来峠一带
砂岩・泥岩
(交互に重なり, しま模様に見える)
- R=広域農道市来～東市来
輝石安山岩
- S=伊集院駅西方の城山
角せん石安山岩

川内市・薩摩郡で採集できる岩石



A=里の南西高地
花こう岩 (白, 灰, 黒色の粒)

B=荒人崎
れき岩 (丸い小石を含む)
砂岩 (灰色)

C=平良の西高地
D=吹切浦
砂岩 (黄灰色)
けつ岩 (黒~チョコレート色)

E=下甌村中央一帯
花こう岩 (白, 灰, 黒色の粒)

F=平ノ山
玄武岩 (黒色, ち密)

G=久見崎の碎石場
れき岩 (丸い小石を含む)
輝石安山岩 (板状の割れ目)

H=月屋山
石灰岩 (白~灰色)
チャート (白色~黄かっ色, 硬い)

I=岩下の碎石場
粘板岩 (黒色, うすくはげる)
石灰岩 (白~灰色)

J=岩元の碎石場
角せん石安山岩
(灰色, 長くて黒い粒)

K=碓山の碎石場
溶結凝灰岩 (軽石を含む)

L=寺山
玄武岩 (暗灰色)
輝石安山岩 (板状の割れ目)

M=宮ヶ原の樋渡川沿い
砂岩・泥岩 (交互に重なる, 化石)

N=倉野の石切り場
凝灰岩 (黄かっ色, 小石を含む)

O=泊野大原
花こう岩 (白, 灰, 黒色の粒)
ホルンフェルス (黒色, 硬い)

P=鶴田ダム上流一帯
砂岩 (灰~黄かっ色)
粘板岩 (黒色)

Q=永野薬師一帯
砂岩・泥岩 (交互に重なる, 化石)

R=蘭牟田池飯盛山
角せん石安山岩
(灰色, 長くて黒い粒)

S=八重山の頂上一帯
玄武岩 (黒色, ち密)

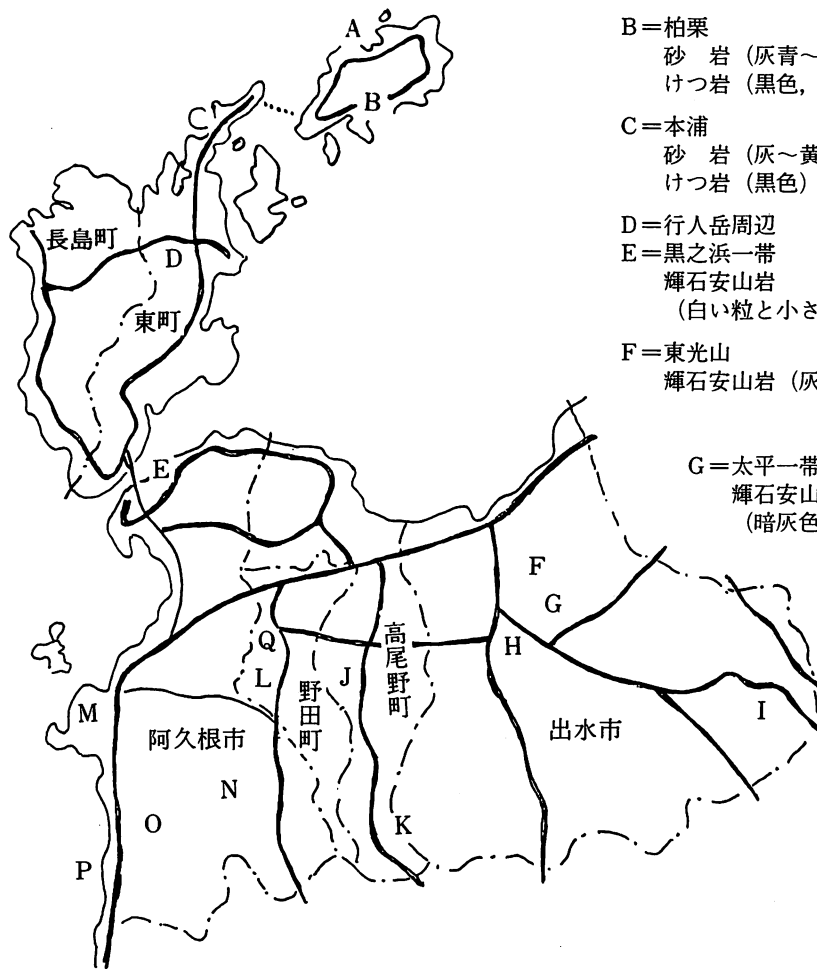
T=入来峠バス停付近
火山灰 (黒と黄かっ色のしま模様)

U=藤本小の川向い
けい藻土 (白色, 化石あり)

V=上牛鼻の小川の中
黒曜石 (黒色, ガラスのような光沢)

W=百次一帯
シラス・火山灰

阿久根市・出水市・出水郡で採集できる岩石



- A=江島崎
れき岩 (丸い小石を含む)
砂岩 (灰青~黄かっ色)
けつ岩 (黒~チョコレート色)
- B=柏栗
砂岩 (灰青~黄かっ色)
けつ岩 (黒色, 貝化石を含む)
- C=本浦
砂岩 (灰~黄かっ色)
けつ岩 (黒色)
- D=行人岳周辺
- E=黒之浜一帯
輝石安山岩
(白い粒と小さな黒い粒)
- F=東光山
輝石安山岩 (灰色, 黒い粒)
- G=太平一帯
輝石安山岩
(暗灰色, 小さな黒い粒)

H=花見ヶ城址一帯
シラス・軽石

I=大川内~大口の道路沿い
砂岩 (灰~黄かっ色)
けつ岩 (黒~茶かっ色)

J=砂原一帯
シラス・軽石

K=平八重
花こう岩 (白, 灰, 黒色の粒)
ホルンフェルス (黒色, 硬い)

L=御手洗ダム周辺
砂岩 (灰~黄かっ色)
けつ岩 (黒~茶かっ色)

M=遠見ヶ岡
れき岩 (チャートのれきを含む)
チャート (白~黄土色)

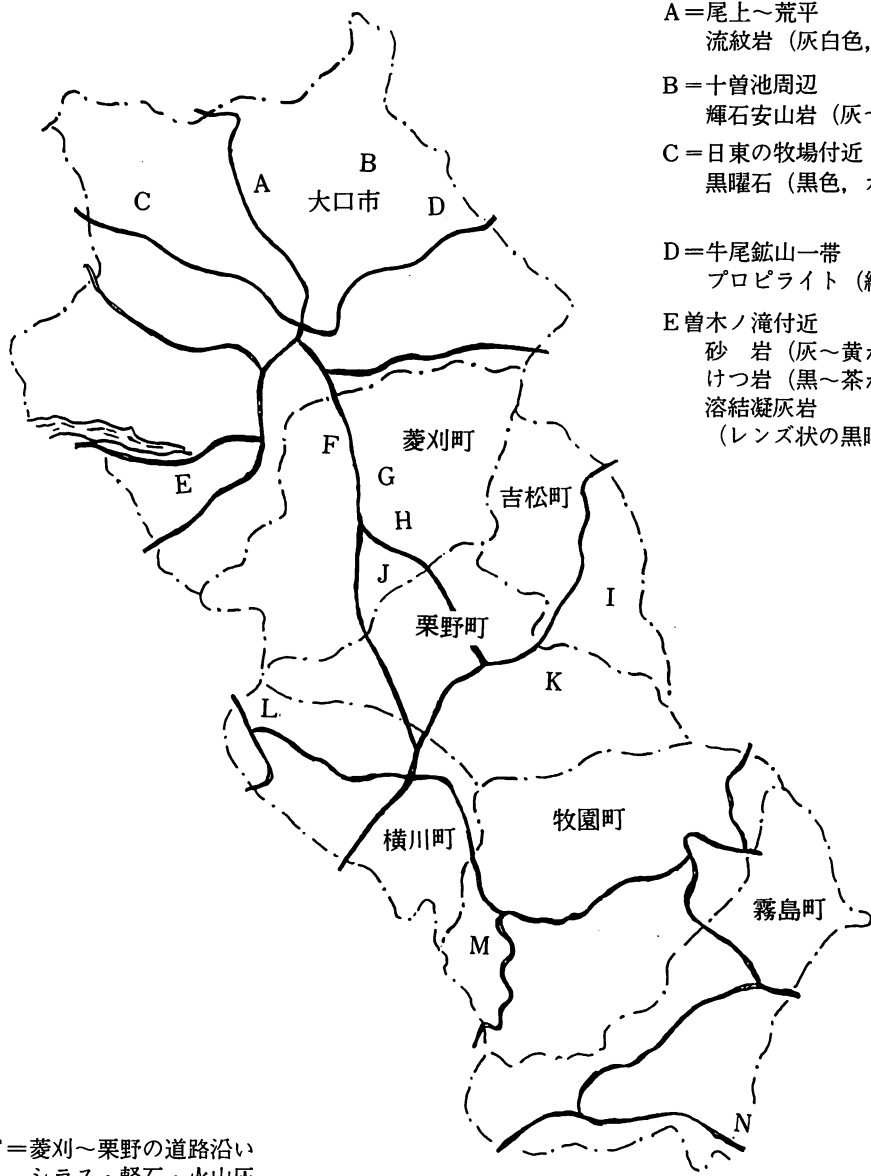
N=馬場
シラス・軽石・溶結凝灰岩

O=柵~落の道路沿い
角せん石安山岩
(灰色, 長くて黒い粒)

P=牛ノ浜駅下の海岸
砂岩 (黄かっ色)
粘板岩 (黒色, うすくはげる)
石灰岩 (白~灰色)
チャート (赤・青・黄土色など)
角せん石安山岩

Q=下特手公民館横
溶結凝灰岩 (赤かっ色)

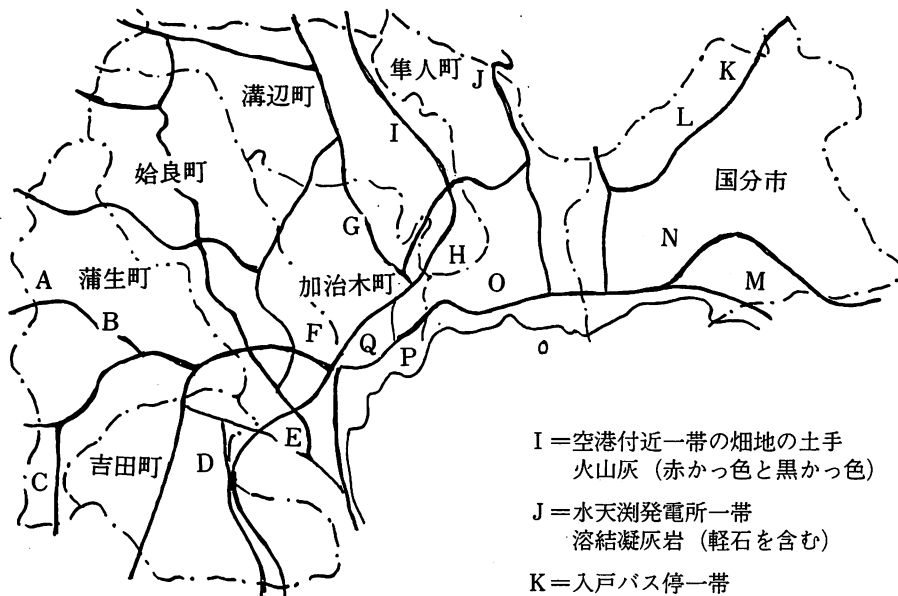
大口市・伊佐郡・始良郡北部で採集できる岩石



- A = 尾上～荒平
流紋岩 (灰白色, 流れ模様あり)
- B = 十曾池周辺
輝石安山岩 (灰～暗灰色)
- C = 日東の牧場付近
黒曜石 (黒色, ガラスのような光沢)
- D = 牛尾鉾山一帯
プロピライト (緑を帯びた灰色)
- E 曾木ノ滝付近
砂 岩 (灰～黄かっ色)
けつ岩 (黒～茶かっ色)
溶結凝灰岩
(レンズ状の黒曜石を含む)

- F = 菱刈～栗野の道路沿い
シラス・軽石・火山灰
- G = 下徳辺の畑の中
黒曜石 (黒色, ガラスのような光沢)
- H = 徳辺～前田の道路沿い
溶結凝灰岩 (軽石を含む)
- I = 中津川の碎石場
輝石安山岩 (灰～暗灰色)
- J = 野池入口付近
溶結凝灰岩 (軽石を含む)
- K = 霧島山麓一帯
輝石安山岩 (灰～暗灰色)
火山灰
(赤かっ色と黒かっ色のしま模様)
- L = バス停十三谷の付近
角せん石安山岩 (黒くて長い粒)
- M = 塩浸発電所付近
溶結凝灰岩
(レンズ状の黒曜石を含む)
- N = 北永野田駅北方500m
砂 岩 (灰～黄かっ色)
けつ岩 (黒～茶かっ色)

国分市・始良郡南郡・吉田町で採集できる岩石



A = 火の宇都 (西浦小から東へ)
けい藻土 (白色, もろい)

B = 添平北東の山
玄武岩 (暗灰岩, 黒やあめ色の粒)

C = 白男の税所公園付近
流紋岩 (灰白色, 流れ模様)

D = 提水流一帯
けい藻土 (白色, もろい)

E = 高速道路の交差点から南東へ
約200mの道路わき
凝灰岩 (灰色, 粒は小さい)

F = 青葉台団地背後の小高い丘の斜面
砂岩・泥岩
(交互に重なり, しま模様に見える)

G = 龍門司焼かま元付近
凝灰岩 (青灰色, やわらかい)

H = 蔵王岳
輝石安山岩 (灰色)

I = 空港付近一帯の畑地の土手
火山灰 (赤かっ色と黒かっ色)

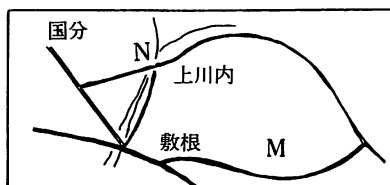
J = 水天淵発電所一帯
溶結凝灰岩 (軽石を含む)

K = 入戸バス停一帯
溶結凝灰岩 (軽石や黒曜石を含む)

L = 春山原
シラス・火山灰・軽石

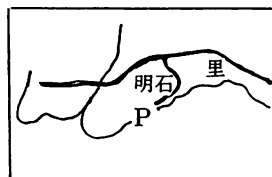
M = 敷根～上之段一帯
輝石安山岩
(暗灰色, ち密で板状の割れ目)

N = 上川内の川の中
砂岩 (暗灰～黄かっ色)
けつ岩 (黒色, ち密)



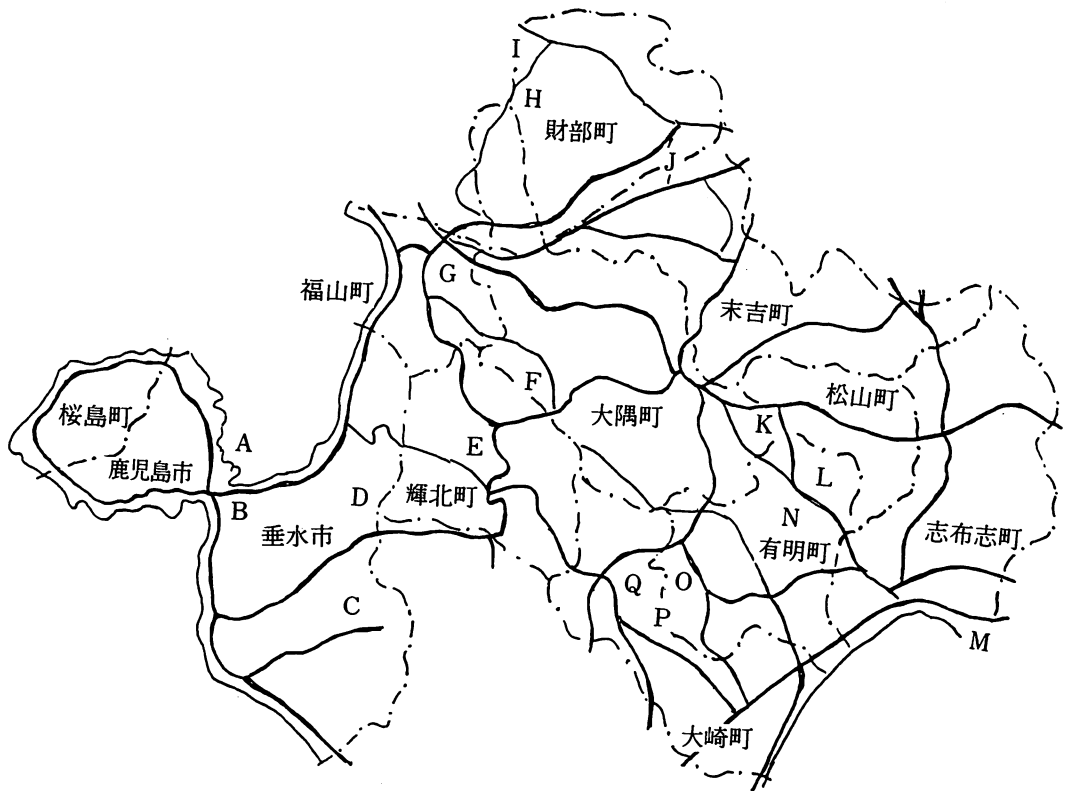
O = 清水の碎石場跡
流紋岩 (灰色, 流れ模様)

P = 明石の岬
れき岩・砂岩・泥岩



Q = 湯湾岳の碎石場
輝石安山岩 (灰色)

垂水市・曾於郡・福山町・桜島で採集できる岩石



- A = 黒神町一帯
輝石安山岩 (暗灰色)
軽石 (白色～黄かっ色)
火山灰 (灰色)
- B = 咲花平
流紋岩 (流れ模様あり)
- C = 本城川発電所付近
砂岩 (灰～黄かっ色)
けつ岩 (黒色)
花こう岩 (白・灰・黒色の粒)
ホルンフェルス (硬い)
- D = 高峠一帯
火山灰 (赤かっ色と黒かっ色)
- E = 宮園～上沢津の林道沿い
輝石安山岩 (暗灰色)
- F = 上長江北方の山
砂岩 (灰～黄かっ色)
けつ岩 (黒～茶かっ色)
- G = バス停宝瀬入口一帯
軽石 (ボラとよばれている)
- H = 粟谷～大峯の林道
砂岩 (灰～黄かっ色)
軽石 (白色)
シラス
- I = 大川原西方の吉が谷
溶結凝灰岩 (小石を含む)
- J = 高ノ峯山頂一帯
輝石安山岩 (暗灰色)
- K = 菱田川と山角川の合流点付近
溶結凝灰岩 (レンズ状の黒曜石を含む)
- L = 伊崎田の碎石場
砂岩 (灰～青灰色)
粘板岩 (黒色)
シラス
- M = ダグリ岬の海岸
砂岩 (灰～黄かっ色)
けつ岩 (黒色)
- N = 広域農道有明大橋の下
溶結凝灰岩 (柱状の割れ目)
- O = 宇都鼻の小高い山
砂岩 (灰～黄かっ色)
けつ岩 (黒～茶かっ色)
- P = 持留小の裏
軽石 (白色)
- Q = 持留川上流横内の一帯
砂岩 (灰～黄かっ色)
けつ岩 (黒～茶かっ色)

鹿屋市・肝属郡で採集できる岩石

A=管原小から高須へ200m

シラス・軽石・溶結凝灰岩

B=高須三文字付近

溶結凝灰岩 (赤かっ色)

C=竹之崎付近

輝石安山岩 (板状の割れ目)

溶結凝灰岩 (赤かっ色)

D=神川～宿利原の長次郎

滝の南西200mのかけ

凝灰岩 (黄かっ色, 貝の化石)

E=バス停長谷付近

F=バス停丸峯付近

砂岩 (灰～黄かっ色)

けつ岩 (黒色)

G=バス停小浜～伊座敷間道路沿い

花こう岩 (白, 灰, 黒色の粒)

H=バス停西方入口付近の小川

ホルンフェルス (黒色, 硬い)

I=西方～大泊の道路沿い

砂岩 (灰～黄かっ色)

けつ岩 (黒色)

J=郡中学校前

軽石 (口色)

凝灰岩

(黄かっ色, やわらかい)

K=大中尾一带

火山灰 (赤かっ色と黒かっ色)

L=田代麓の碎石場

砂岩 (灰～黄かっ色)

けつ岩 (黒色)

M=岸良一带

花こう岩 (白, 灰, 黒色の粒)

N=太平長谷橋のたもと

溶結凝灰岩

(レンズ状の黒曜石を含む)

O=後田川添前の碎石場

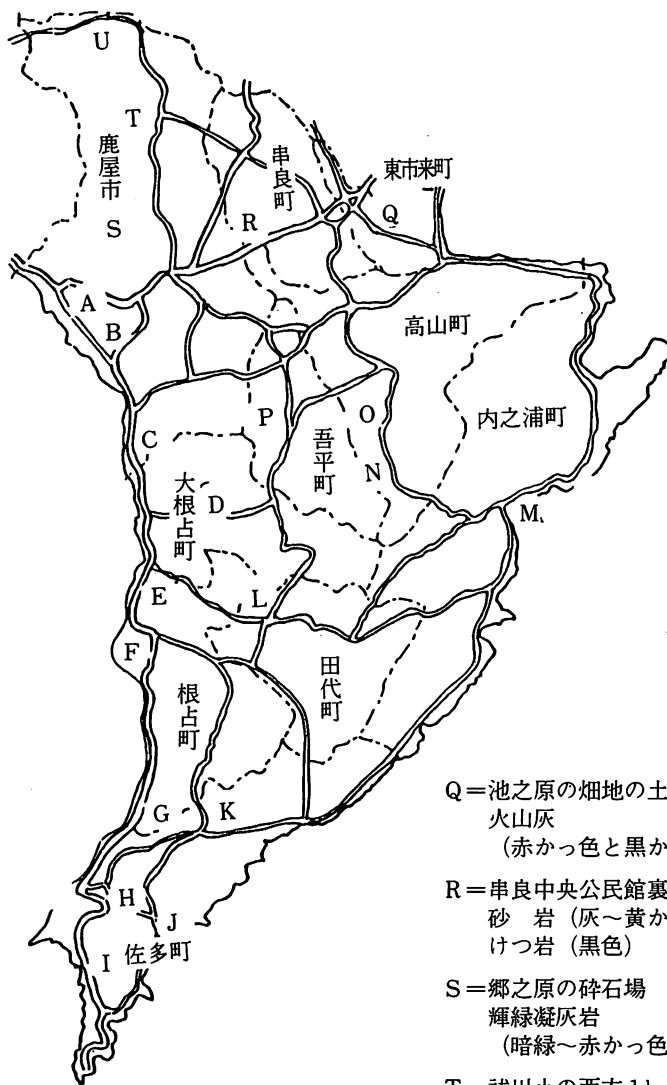
砂岩 (灰色)

けつ岩 (黒色)

ホルンフェルス (硬い)

P=立元南西の山

輝石安山岩 (暗灰色)



Q=池之原の畑地の土手
火山灰
(赤かっ色と黒かっ色)

R=串良中央公民館裏の山
砂岩 (灰～黄かっ色)
けつ岩 (黒色)

S=郷之原の碎石場
輝緑凝灰岩
(暗緑～赤かっ色)

T=祓川小の西方1km
粘板岩 (黒色)

U=高隈の碎石場
砂岩 (灰色)
粘板岩 (黒色)

参 考 文 献

岩石各種の解説や採集場所の案内の作成にあたっては、次の文献を参考にしました。これらの文献も入手し、採集や巡見で併用すると効果的です。

- (1) かごしまの自然—地質ガイドブック—鹿児島県地学会 (昭和41年)
- (2) かごしまの自然—地史と岩石—鹿児島県地学会 (昭和43年)
- (3) かごしま茶の間の科学 鹿児島県教育地質調査団 (昭和56年)
- (4) 鹿児島県地質図 鹿児島県地学調査研究会 (昭和40年)